

(公開学習Ⅱ) 小学校第2学年1組 生活科学学習指導案

授業者 新 康江
小学校2年1組教室

1 単元名 わくわく大学たんけん ～パート1～

2 授業構成

(1) 教師と教材

本単元は、新学習指導要領の次の内容に位置づけられている。

- | |
|--|
| <p>(3) 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着を持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。</p> <p>(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。</p> |
|--|

本単元は、学校探検の発展でもあり、これから始まる地域学習の導入期の単元でもある。学習対象が身近にあること、支援してくれる人が大学にもいることを知るだけでなく、調べ方、聞き方などの学習方法を体験しながら学ぶこともできる。また、この学習をきっかけに、今までとは違った生活の見方ができるようになったり、鳥取大学の附属学校で生活している自分の存在が再認識できたりする題材でもある。さらに、学習対象が隣接する大学であることから、何度も繰り返しかかわることができ、日常的なかかわりへと発展できるよさなどもある。

子どもたちは、探検を通じて小学校と大学とのかかわりに気づき、今まで知らなかったことを発見している。また、大学で働く人にインタビューを行うなかで、あたたかさを感じ、人とつながるすばらしさを実感してきている。

本時では、今までの探検活動を通して発見したことをグループでまとめ、互いの学びを交流し合い、より深まりのある確かな学びにしていきたいと考える。その際、自分たちの発表と友だちの発表を重ね合わせながら聞くことができるよう、学び合いの観点を明確にしておきたい。児童が、実際に自分たちの活動を振り返ることは、より質の高い気づきや次の活動への意欲につながっていくものと思う。

(2) 子どもと教師

本校の生活科では、「自分なりに課題を見つけ、主体的にかかわろうとする力」「かかわりの中から気づきを広げ、深めようとする力」「自分の思いや願いを豊かに表現し、生活に生かす力」を育てたい力として考え、学習に取り組んでいる。

本学級の児童は、興味あるものへは関心をもち生き生きと取り組むが、自分からすすんでかかわることが苦手な児童も見られる。4月には、学校探検で1年生とともに活動をしたり、5月には、特別支援学校の友だちと「ふれあいピック」で交流をしたりしている。今まで、友だちや下学年とのかかわりを中心に学習を進めてきた。児童は、6月上旬、初めての大学探検を通じて、今まで知らなかったことを知ったり、すてきなところを発見したりしてきている。さらに2度目の大学探検では、実際にそこで学ぶ人や働く人々との出会いやかかわりを通して、将来への夢や憧れをもち、また、人はいつまでも学び続けていくのだなという感想をもった児童も見られた。前時までに児童は、「見てきたこと」「聞いたこと」「体験したこと」「感じたこと」についてグループの友だちと意見を出し合い、文や絵、写真、地図、インタビュー形式の劇化など多様な方法でまとめている。さらに、本時では、友だちと協力し、互いの学びをわかりやすく伝え合うことで、「もっと知りたい。」「もっとかかわりたい。」「もっといろいろなところに行きたい。」という意欲と探求心を育んでいきたいと考える。

(3) 子どもと教材

本時の活動では、大学探検をした「動物病院」「農場」「附属図書館」「研究室」「生協」について、グループでまとめたことを発表し合う。ここで、一人一人が大学生活を支えている人への思いをもつとともに、自分たちとのつながりについて考えさせたい。新たな出会いから自分とのつながりを見つめ、自分自身の生活に生かそうとする実践的行動力の源にもなるようにしたい。

大学探検の中で児童は、動物たちの命を救うために治療している動物病院のスタッフの姿から、「命の大切さ」を感じとっていた。今夏野菜づくりに挑戦している児童たちは、野菜や米、果物づくりのエキスパートとして研究を重ねている農場スタッフの姿に栽培の知恵やコツを学ぼうとしていた。さらに、図書館を利用している学生や教授の姿、またその人たちのために本などの資料を提供している職員の方の思いにふれることができた。そして、「生協」には、大学生活に必要な品物が沢山あり、利用する人のために様々な工夫をしていると感じとっていた。「美術教育の研究室」「幼児教育の研究室」では、どんなことを大学生が教わっているのか、実際に児童も模擬授業を体験することができた。そこで、将来自分も大学で学んでみたいという夢をもつ児童もいた。このように、それぞれのグループが学びとったことをまとめる活動においては、体験や出会いにおける一人一人の気づきや思いを、関連づけたり価値付けたりしながらわかりやすくまとめるよう支援していきたい。

伝え合う活動においては、児童同士がしっかり対話し思いを出し合っていくことが大切である。一人一人の疑問や気づきを大切に取り上げ、次の活動につなげていけるようにしたい。前時での発表や話し合いで子どもが感じ取ったことも取り上げ、共通点や相違点に着目しながら、大学と自分とのつながりを考えさせていきたい。

さらに、本実践における大学の人とのかかわりで、自分たちも「あんなことを学んでみたい。」「こんな仕事をしてみたい。」と、出会った人たちの生き方に学び、将来の夢や憧れをもつことを期待したい。大学の人々への親しみや愛着は、「もっと知りたい、もっと行きたい、もっと親しくなりたい、自分にできることをしてみたい。」という思いや願いにつながる。児童がかかわることの楽しさを再認識できるよう話し合いのなかでも支援していきたい。

秋には、「大学探検パート2」を実践し、パート1の探検から見えた自分の課題を生かし、主体的なかかわりがもてるよう、児童の思いや主体性を大切にした学習展開をしていきたい。今後この学習が、児童の生活の場の広がりとともに、地域に出かけ様々な人や場所との出会いをつくり、それらに心を寄せ、自分の生活とのかかわりをさらに豊かなものにしていくことを期待している。

3 単元目標

- 大学で働く人々や学ぶ人々の様子に関心を持ち、人とかかわる喜びを味わいながら、意欲をもって大学探検をすることができる。 [生活への関心・意欲・態度]
- 大学でかかわった人々から学んだことや感じたこと、気づいたことを工夫してまとめ、思いをもって自分たちなりの方法で表現することができる。 [活動や体験についての思考・表現]
- 大学の人々とのかかわりを大切にし、その人たちのあたたかさやすてきな生き方、自分とのつながりに気づくことができる。 [身近な環境や自分自身への気づき]

4 学習計画（全15時間）

第1次 大学のことを知ろう。（4）

- ・校長先生や大学生にインタビューをする。①
- ・大学に行ってみよう。②
- ・発見したことを話し合う①

第2次 もっと大学のことを知ろう。（5）

- ・たんけんの計画を立てる。②
- ・グループごとにたんけんに出かける。②

第3次 たんけんで発見したことを伝え合おう。（6）

- ・発見したことをまとめる。④
- ・たんけんほうこく会を開く。②・・・本時（2/2）

たんけん先にお礼
の手紙を書こう。
国語①

5 本時の学習について

（1）本時の目標

- ・自分たちが出会った人のすばらしさや聞き取ったことがわかりやすく伝わるよう、いろいろな表現方法を取り入れながら工夫して発表することができる。
- ・自分たちの聞き取りとの共通点や相違点に着目しながら、発表を聞き合い話し合うなかで、自分の思いを深めたり広げたりすることができる。

（2）期待される児童の様相

- A 大学探検で発見したことや自分たちの思いが伝わるように、わかりやすく発表をしたり、共通点や相違点に着目しながら聞いたりする。
- B 自分たちの発表と友だちの発表を重ね合わせながら聞き、人とかかわりから学んだことについて自分なりの思いをもつ。
- C 今後も大学のことをもっと知りたい、もっとたくさんの人とかかわってみたいという思いをもつ。

(3) 本時の展開 (○教師の意図 ◇全体への支援 ◆個への支援)

学 習 活 動	教 師 の 支 援 ・ 意 図
<p>1. 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○前時に発表したグループの発見を紹介し、本時もわかりやすく伝えるよう意欲付けを図る。</p>
<p>わくわく大学たんけんでは、発見したことや感じたことをつたえあおう。</p>	
<p>2. 大学探検で発見したことや感じたことを各グループ毎に発表し、感じとったことを話し合う。</p> <p>○大学農場 ○図書館 ○動物病院 ○生協 ○喜久山研究室 ○高橋研究室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな気持ちで働いたり学んだりしているのかな。 ・大学にはたくさんの働く人、学ぶ人がいるのだな。 ・ぼくたちの学校も大学とのつながりがあるのだな。 ・わたしたちの生活は、いろいろな人に見守られているのだな。 ・もっともっと大学のことを知りたいいろいろな人と出会ってみたいな。 ・自分たちの生活する地域の人にもインタビューしてみたいな。 	<p>○各グループが、絵や写真、映像、実物などを活用し、自分たちなりに工夫した方法で発表できるよう、働きかけておく。</p> <p>◆探検活動の中で、どのようなことを発見したのか、かかわりの中で何を感じたのか、友だちに伝えたいポイントを明確にしておく。(→A)</p> <p>◆前時に発表したグループには、自分たちの発見と共通しているところ、違っていているところに着目しながら聞くように促す。(→B)</p> <p>○何のためにあるのか、どんな思いで働いておられたのかなど、疑問に思ったことやもっと聞いてみたいことをすすんで質問し、お互いの気づきを深め合いたい。</p> <p>◆探検後に、一人一人が大学の人とのかかわりの中で感じたことや自分とのかかわりについて考え、発見カードに記述させておく。(→C)</p> <p>◇たくさんの働く人と大学で学ぶ人とがともにつながり、支え合って生活していることに気づかせたい。</p> <p>◇本校でも、給食センターの調理員さんや栄養士さん、守衛さんなどが、自分たちの安全や健康を支えてくださっていることに気づかせたい。</p>
<p>3. 学習の振り返りをする。</p>	<p>◇振り返りカードに今日のめあてが達成できたかを振り返らせ、友だちにわかりやすく伝えることができたか、共感的に発表を聞くことができたかを確認させたい。</p>
<p>4. 次時の学習内容を確認し、今後の見通しをもつ。</p>	<p>○友だちとの新たな活動の広がりや発展を期待していることを伝え、次時の発表会に向けての意欲付けを図りたい。</p>